

# 平成27年度決算 財政指標の状況をチェック

27年度決算

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実質収支比率	69.1%	38.3%	19.3%	32.5%
経常収支比率	91.8%	96.7%	60.8%	59.3%
公債費負担比率	5.7%	5.2%	5.6%	3.3%
財政力指数	0.949	0.940	1.456	1.361
基準財政需要額	14億2979万円	15億100万円	17億385万円	17億8540万円
基準財政収入額	13億5629万円	14億1120万円	24億8135万円	24億2989万円

※金額は全て千円以下を切り捨てて表示しています。

## 〈それぞれの用語説明〉

- ・実質収支比率：標準財政規模に対する実質収支額の割合です。
- ・経常収支比率：経常的経費に経常一般財源のうちどれだけの割合の額が充当されたかを示す比率です。70～80%が標準とされており、80%を著しく超える団体は財政構造の硬直化が進んでいるといわれています。
- ・公債費負担比率：一般財源の総額に対する公債費に充当された一般財源の比率です。
- ・財政力指数：普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値です。指数が1以上の団体は、極めて財政力の強い団体といわれています。
- ・基準財政需要額：地方交付税の算定の基礎となるものです。
- ・基準財政収入額：普通交付税の算定に用いるものです。

### ※危険信号

この基準を超えてしまうと、早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、自主的に財政の早期健全化に向けた取り組みを行わなければなりません。

## 平成27年度決算

# 4つの健全化判断比率でチェック

指標	内容	広野町	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	15%
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	赤字なし	20%
実質公債比率	年間の借金返済額の割合	8.2%	25%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	※ -	350%

※将来負担額を充当可能財源等が上回るため、「-」と記載しています。



広野町の財政の健全性を表す指標は、いずれも危険な基準を超えておらず、財政状況は良好とされています。

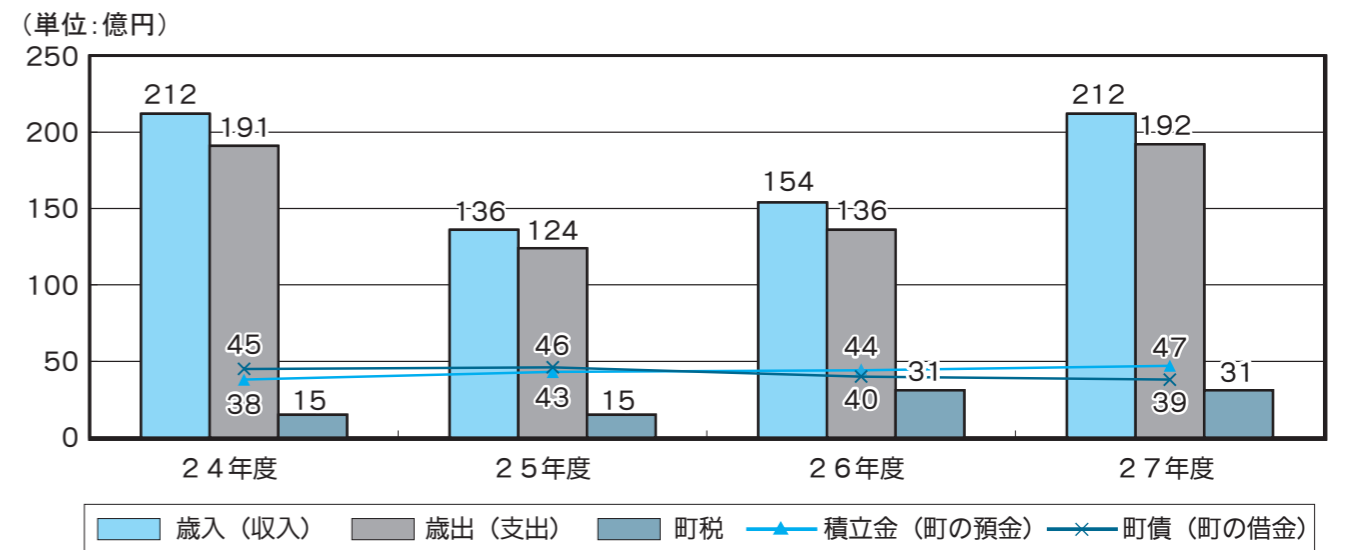
## 平成27年度歳入・歳出決算額

〈金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。〉

会計名	決算額		収入未済額 (税金等の滞納)	採決の状況	
	歳入(収入)	歳出(支出)			
一般会計	183億1791万円	167億3185万円	4億6056万円	全員賛成で認定	
特別会計	国民健康保険	12億615万円	10億9873万円	7730万円	〃
	土地開発事業	7億6169万円	6億431万円	0円	〃
	公共下水道事業	4億5219万円	3億7657万円	320万円	〃
	農業集落排水事業	3129万円	2717万円	146万円	〃
	介護保険	4億8903万円	4億4242万円	406万円	〃
	後期高齢者医療	1816万円	1715万円	24万円	〃
	小計	29億5851万円	25億6635万円	8626万円	
合計	212億7642万円	192億9820万円	※5億4682万円		

※国庫補助金と県補助金の翌年度繰越事業に充当する2367万円が含まれています。

## 一般会計・特別会計 歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移



### 町民1人当たりの金額

(一般会計・特別会計決算額)

歳入 約 419万円  
 歳出 約 380万円  
 預金 約 94万円  
 借金 約 77万円

平成28年10月1日 人口5,071人で算出

※金額は全て千円以下を切り捨てて表示しています。



9月定例会のようす